

3. 経営方針

当社グループは、平成16年3月に「関西電力グループ経営ビジョン」を策定し、めざすべき企業像として「お客さま満足No.1企業」を掲げ、事業活動を展開しております。

昨年3月には、その実現への道筋をより具体化した「関西電力グループ中長期計画」をとりまとめました。その初年度となる平成19年度は、「事業経営の質の向上」をはじめとする取組方針を踏まえ、「安全最優先・お客さま価値の創造・人づくり」の3つのアクションプランを推進してまいりましたが、概ね当初の計画どおり進捗し、中長期計画の着実なスタートを切ることができました。

当社グループを取り巻く経営環境は厳しさを増しておりますが、さらなる成長をめざして、引き続き、中長期計画を着実に推進し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

現在、関西地域においては、企業進出が相ついでおり、今後、電力需要は従来以上に堅調に伸びることが予想されます。その一方で、エネルギーセキュリティ確保の重要性や地球環境問題に対する社会的関心は一層高まりをみせております。

平成20年度は、こうした経営環境の変化にも柔軟に対応し、引き続き、CSR（企業の社会的責任）を軸に、3つのアクションプランを展開してまいります。

特に、安全は当社グループの事業活動の根幹であります。美浜発電所3号機事故の反省を決して忘れることなく、すべての活動において、安全最優先を徹底し安全文化を再構築してまいります。こうして事業経営の質を高めていくことが、お客さま価値の創造や人づくりのベースとなり、社会のみなさまからのご信頼や、さらには当社グループの将来の成長につながることを改めて肝に銘じ、着実に取り組んでまいります。

そして、電気の安全・安定供給をはじめ、ベースとなる業務を確実に遂行しながら、グループの総合力を発揮し、高品質でお客さまのお役に立ち、しかも環境にも優しい商品・サービスをご提供してまいります。

とりわけ、電気事業においては、安定的かつ柔軟な燃料調達に努めるとともに、原子力を中心とした最適な電源構成の構築を推進するなど、供給力の確保と地球環境保全の両立を図ってまいります。また、社会からの要請に応じ、迅速に電力供給体制を構築するとともに、電力流通設備の確実かつ効率的な維持・運用に努め、高品質な電気をお届けしてまいります。

さらには、オール電化や高効率エネルギーシステムに加えて、お客さまの設備全般にわたり、設計・施工・メンテナンス・運転管理等を一括してご提供するユーティリティサービスのご提案にも注力し、お客さまの省エネ・省CO₂の実現に積極的に貢献してまいります。

こうしたエネルギー分野のほか、情報通信や生活アメニティの分野などにおいても、最適なソリューションのご提供に努めてまいります。

このように、当社グループを挙げて、お客さまの多様なニーズに、的確にお応えし、地球

環境問題に対しても従来以上に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、こうしたすべての取組みの原動力である従業員一人ひとりの成長を支えるしくみづくりを進め、当社グループとその従業員の成長の好循環を生み出してまいります。

当社グループは、このような取組みを通じまして、「お客さま満足No.1企業」の実現に向けて、新しい時代の変化を先取りし、常に変革を続け前進してまいります。

当社グループは、持続的な成長を見据え、経営基盤の強化に取り組むため、効率的な業務運営に努めつつ、資産効率・投資効率を勘案しながら経営資源の投入を着実に実施することにより、継続的に営業キャッシュ・フローを創出し、企業価値の向上を図ってまいります。そのため、以下に掲げます財務目標の達成に向けて取り組んでまいります。

<財務目標>

	平成20～24年度平均	平成24年度
総資産事業利益率(連結)(注1)	3%以上	4%以上
営業キャッシュ・フロー(連結)	5,500億円以上	6,500億円以上
グループ事業外販売上高(注2)	3,400億円以上	3,800億円以上
グループ事業経常利益(注2)	450億円以上	600億円以上

(注1)

・総資産事業利益率=事業利益(経常利益+支払利息)÷総資産(期首・期末平均)

(注2)

・本表の数値は連結上の相殺消去等を行う前の、連結子会社の目標を単純合計した数値である。

・本表の数値は個別財務諸表に含まれる附帯事業のうち、ガス供給事業、燃料販売事業、蒸気供給事業の一部を含んでいる。

・経常利益は持分法適用会社の持分相当額を含んでいる。